



令和6年度 旭っ子の『身に付けたい力』<保・学園一貫表>



●R6重点項目

項目		保育園(きりん組)	1年・2年	3年・4年	5年・6年・7年	8年・9年	参考
コミュニケーション	他者への配慮	○友達と関わり、思いやりの気持ちを持って生活する ○状況に応じた、適切な言葉の表現を使う	●相手に伝わる声で、自分からあいさつをする ○友達が話しているときは、最後まで聞く	●相手に伝わる声で、自分からあいさつをする ○友達が話しているときは最後まで聞き、言葉や態度で反応する	●相手に伝わる声で、自分からあいさつをする ○友達が話しているときは最後まで聞き、言葉や態度で反応する	●相手に伝わる声で、自分からあいさつをする ○友達が話しているときは最後まで聞き、言葉や態度で反応する	ハイパーQ-Uソーシャルスキル
	自分からの関わり	○自分の思っていることを言葉で相手に伝える ○友達と積極的に関わる中で、思いや考えを共有する	⑩話合いの時、自分の考えをみんなに話す ○よいと思うことを進んで行う	⑩話し合いで自分の意見を言う ○みんなのためになることを進んで行う	⑩自分の意見を持ち、わかりやすく伝える ○みんなのためになることを見付け行う	⑩自分の意見を、相手が理解できるように伝える ○みんなのためになることを自分で見付け実行する	
課題解決	集団決定 話し合い活動 学級活動(1)	○友達と共通の話題について話し合う ●遊びの振り返りを通して、自分の考えを発表したり友達の意見を聞き、受け入れようとしたりする	○「話し合い 司会の仕方」をもとにして意見を言ったり聞いたりして、合意形成する ●⑪学級生活をよりよくするために、話し合いの約束を確認し、話し合う	○教師の指導の下に児童が活動計画を作り、「話し合い司会の仕方」を使って進行する ●⑪理由を付けて意見を言ったり異なる意見も聞いたりして、合意形成し、より良い学級生活をつくろうとする	○教師の助言を受けながら児童生徒が活動計画をつくり、話し合い方法を工夫して効率的、計画的に運営する ●⑪建設的な意見を述べ合い、解決方法について合意形成し、より良い生活をつくろうとする	○生徒が活動計画をつくり、話し合い方法を工夫して効率的、計画的に運営する ●⑪見出した生活の課題の解決方法や役割について合意形成し、より良い生活をつくろうとする	特別活動 学習指導要領
	意思決定 キャリア形成と自己実現 学級活動(3)	○自ら進んで手伝い、人の役に立つ喜びを味わう ○友達と一緒に生活する中で、自分の役割を知る	②この1年でどのようにしたいか目標を決めて取り組む ⑭友達や旭地域の人と関わり、色々な考えがあることを理解し、進んで学習に取り組む	②自分が目指す姿について考え、目標に向かって取り組む ⑭友達や旭地域の人と進んで関わり、いろいろな立場や考えがあることを理解し、主体的に学習に取り組む	②話し合いを通して目標を立て、意思決定したことに粘り強く取り組む ⑭旭地域や身の回りの活動に進んで参加し、地域の現状や人々の願いや考えを理解し、主体的に取り組む	②他者との関わりを通して自己の将来に関する考えを深め、目標を立てて取り組む ⑭旭地域や身の回りの活動に進んで参加し、地域の現状や人々の願いや考え、その背景を多面的・多角的に理解し、主体的に取り組む	学習指導要領
主体的・対話的で深い学び	話す・聞く・話し合う	●見たり聞いたり、感じたり考えたりしたことを、自分なりの言葉で話す	○相手に伝わるよう話す事柄の順序を考えて話す ○話し手が知らせたいこと、自分が聞きたいことを集中して聞き、感想を持つ ●互いの話に興味を持ち、相手の発言を受けて話をつないで話し合う	○相手に伝わるよう理由や事例を挙げながら、話の中心が明確になる構成を考えて話す ○必要なことをメモしたり質問したりしながら聞き、自分の考えを持つ ●互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめ、話し合う	○事実と感想、意見とを区別して、話の内容が明確になる構成を考えて話す ○話し手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる ●互いの立場や意図を明確にしながらか話し合い、考えを広げたりまとめたりする	○自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して話の構成を工夫して話す ○話の展開に注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる ●互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりする	国語科 学習指導要領 「A話すこと・聞くこと」
	書く	○感じたことや思ったこと、経験したことを絵や文字などで表現しようとする ○自分の名前の文字に興味を持ち、読んだり書いたりしてみようとする	○事柄の順序に沿って簡単な構成を考えて書く ●語と語や文と文の続き方に気を付け、内容のまとまりがわかるように工夫して書く	○内容のまとまりで段落をつくらたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えて書く ●自分の考えとその理由や事例との関係が明確になるように工夫して書く	○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えて書く ●目的や意図に応じて書いたり、事実と感想、意見とを区別して書いたりする	○段落相互の関係を考え、論理の展開や文章の構成を工夫して書く ●根拠を明確にしながらか説明や具体例を加えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように工夫して書く	国語科 学習指導要領 「B書くこと」